

令和4年度 小金井市立前原小学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

○ 地域の教育資源を効果的に活用しながら、児童が対話的活動を通して主体的に課題を解決していく力を育てる授業の創造

2 児童の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査・まなびポケット学力調査

国語	○読書の時間を増やして多くの語彙力や表現力などに触れながら言語感覚を磨き、文章を正しく読み取る力を育てる。
算数	○朝学習の「算数タイム」やICT端末を使ったドリルアプリでの反復学習に取り組み、基礎学力の定着を図る。

(2) 児童・保護者・教職員アンケート

話し合い活動を効果的に取り入れることで、考えを広げ、深める力を育てる。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	低学年	○本文をTVに写し、サイドラインや囲み線で大切な言葉や文を共有し根拠を確かめながら話し合う。
	中学年	○叙述を基に登場人物の心情等を考え、ICT機器を活用して自信をもって発表できる力を育てる。
	高学年	○クラスルームを活用し、自分や友達の見解を視覚的に捉え、話し合いが行われるようにする。
社会	中学年	○ICT機器を活用して資料の提示の仕方を工夫したり、調査活動を積極的に取り入れたりとすることで、主体的に問題を解決しようとする態度を育てる
	高学年	○グラフや図、写真など、児童のICT端末で共有して、話し合い活動を深める。
算数	低学年	○ノートに書かれた考えや資料をTVやICT端末で共有し、話し合いによる問題解決の力を育てる。
	中学年	○ICTを用いて作業的・体験的な数学的活動を取り入れ、児童主体の学習を展開する。
	高学年	○基礎・基本の定着を図るため、苦手な学習内容を、繰り返し学習する。
理科	中学年	○単元の導入やまとめを身の周りの自然現象と関連付け、主体的に学習に取り組む態度を養う。
	高学年	○予想や仮説、実験結果をICT端末で共有し、実験中に効率よく対話できるようにする。
生活	低学年	○児童から探求したいことを引き出して観察や探検を継続して行い、主体的に取り組む態度を育てる。
音楽	低学年	○拍に合わせて身体を動かすことやリズム遊びを通して、音楽を楽しみながら表現する力を付ける。
	中学年	○生の音や演奏にふれ、音楽のよさを体感する。ICT端末の活用で、個々の理解や学びの深まりを促す。
	高学年	○鑑賞や音楽づくり等の学習に、ICT端末で相互の考えや表現のよさを学び合い、活動を深め広げる。
図画工作	低学年	○様々な素材や技法を提示することで、児童の制作意欲を高め、豊かな発想に繋げる。
	中学年	○導入や作品提示等にICT機器を利用し、より児童の理解を深め、意欲を高める。
	高学年	○ICT機器を利用し制作中の様子等を共有することで、相互鑑賞に生かし、意欲を高める。
家庭	高学年	○衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、身近な生活に活用できる力をつける。
体育	低学年	○動きを見合い、動きのよさや改善点を友達に伝えると共に、自分の動きに生かせるようにする。
	中学年	○動きを見合う場面を通して、自分と友達の動きのよさに気付き、自分の動きに取り入れようとする。
	高学年	○互いに動きを撮り合い、客観的にとらえる場を設けて、動きのよさや課題に気付くようにする。
外国語	中学年	○話したいと思う場面を設定し、外国語でのコミュニケーションを取ろうとする態度を育てる。
	高学年	○十分に読む練習を繰り返した後に、なぞる練習を多く取り入れ、書く力を強化する。
道徳	低学年	○自己の生き方について考え、生活を振り返りながら道徳的価値を補充する。
	中学年	○自己の生き方について考え、生活を振り返りながら道徳的価値を深化する。
	高学年	○自己の生き方について考え、生活を振り返りながら道徳的価値を統合する。
総合	中学年	○地域の人材や教材を活用して身近な課題を取り扱うことで、主体的に探究活動に取り組む態度を養う。
	高学年	○地域の人材や教材を活用し、課題を見いだし解決する力を身に付ける。